

## 新人剣道競技大会要項

1. 大会名 第56回筑紫区中学校新人剣道大会
2. 期 日 令和4年10月15日(土)  
〔団体戦〕 競技開始 女子 8時30分 男子 12時30分 予定
3. 会 場 大野城市立大和中学校
4. 参加校 二日市中学校・筑山中学校・筑紫野中学校・天拝中学校・筑紫野南中学校・学業院中学校  
太宰府中学校・太宰府西中学校・大野中学校・大野東中学校・大和中学校・平野中学校  
御陵中学校・春日中学校・春日東中学校・春日南中学校・春日野中学校・那珂川中学校  
那珂川南中学校・筑陽学園中学校  
計 20校
5. 参加資格 筑紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による
6. 競技方法 (1) 男子、女子それぞれ、4パートに分け予選リーグを行い、各パート上位2チームが決勝トーナメントを行う。(男女とも3位、5位決定戦を行う。)  
(2) 試合順序は、午前中に女子の部(決勝まで)を行い、午後から男子の部を行う。尚、表彰については実施日に行う。
7. 競技規則 (1) 試合規則は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び「日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」並びに「本大会申し合わせ事項」による。  
(2) 引率・監督は当該学校の校長・教員とする。コーチについては、当該学校の教育職員とする。尚、外部指導者のベンチ入りについては、正式に登録を済ませた者のみとする。  
(3) 面紐の長さは40cm以内とし、長い場合は切断する。
8. 申し合わせ事項 (1) 申し込み後のオーダー変更は原則認めない。補員交替は、下記の場合のみ認める。  
①各試合までに申し込みがあった場合(コート主任に申し出ること)。  
②補員出場は、欠場者の位置に入れる。  
③一度退場した者は再出場できない。  
(2) 不正出場が確認された場合、不正出場者は負けとする。  
(3) 試合時間は3分とし、勝負が決しない場合は、引き分けとする。個人戦においては、勝敗の決するまで延長戦を行う。  
(4) 学校単位での勝敗の決し方は、①勝者数、②本数、③代表戦とし、代表戦は3分1本勝負(誰でも可)で行なう。  
(5) リーグ戦での順位決定は次のとおりとする。  
①勝数 ②勝者数 ③取得本数の順で行なう。さらに同率の場合は代表者戦(誰でも可)3分1本勝負で決する。  
(6) 団体戦の代表戦の延長は勝敗が決するまで行う。ただし、延長は2分を2回行い、給水を含めた休息を3分行う。それ以降は、勝負が決するまで繰り返す。(延長が3回続いた場合給水時間を設ける。)  
(7) 竹刀は114cm以内、重さ男子440g以上、女子は400g以上とする。先端の直径は男子25mm以上、女子24mm以上とする。  
(8) コートの広さは10m×10mとする。  
(9) チームの編成(正選手規定人員に満たないチームは、参加を認めない)  
・団体 1チーム選手5名と補員2名以内(ただし3名でも参加は可。5名に満たない場合は①次鋒、②副将の順で空ける、4人の場合は先・中・副・大におく。)  
(10) 抽選後に欠場が出た場合においても変更は行わない。  
(11) 上位4チームを次年度の夏季大会の第1シードとする。  
(12) AEDは本部に設置する。
9. 表 彰 (1) 団体は上位3チームに賞状を授与する。  
(2) 筑前大会については男子6校までが出場できる。
10. 専門部長 相場 拓弥(平野中学校) TEL(596-6501)
11. 審判員 ・平井智也、大塚章雅(大野東)・坂田直子(筑紫野南)・山田慎吾(筑山)  
・花田千聖(天拝)・藤渡英志郎(学業院)・古賀充彦(太宰府)・小島海月(筑陽学園)  
・井本清隆、小橋健太郎(春日南)・満石達彦、三宅健児(春日東)・神田学(春日野)  
・森下秀斗(那珂川北)・平居慶一、松尾匡樹(平野)
12. 競技役員 ・今福豊久、末次利恵(御陵)・佐竹晃一(大野)・中嶋太一、佐藤聡美(大和)  
・堀口歩、池田エースアキラ、北原紗綾(筑紫野)・山口隆代(筑紫野南)  
・杉本陽子(筑山)・山川征治(天拝)・嶺聖子、守田知恵(二日市)・山下圭介(学業院)  
・高嶋康博、永松剛(太宰府西)・竹井奈緒、柳洋輝(春日)・萩尾英明(春日野)  
・秋永美明、大額裕美(春日北)・野中健二、永野恵美(那珂川)  
・山田稔、綾部典子(那珂川南)・川本詩織(平野)

